

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援 あゆみ		
○保護者評価実施期間	7年 11月 18日		7年 12月 2日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22	(回答者数) 22
○従業者評価実施期間	7年 11月 19日		7年 11月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	7年 12月 6日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・基準人数以上に職員配置を行い、一人一人の子どもにじっくりと向き合うことができる	・職員配置を基準以上に多く配置している ・働きやすい職場環境を意識して作っている ・一人一人に寄り添った療育・行動に着目した療育を行う ・アセスメントをしっかり行いプログラムを作成する ・専門的な知識が必要な場合には、言語聴覚士や専門職に相談する	・職員のスキルの向上のための研修に、これまで以上に取り組む
2	・親子通園で子供の成長や課題を共通理解ができ、相談があると療育内容に取り入れすぐに対応できる ・異年齢で同じ活動をする際、年齢・発達にあわせて個々のねらいをしっかりと定めている	・保護者のニーズを療育に取り入れ、生活に活かしていけるよう工夫している ・ミーティングやカンファレンス等で意見交換し共通理解を図っている	・継続した関わり方など職員同士、情報共有を強化する ・保護者同士がもっと気軽に情報交換できる機会を設ける ・カンファレンスを通し、子どものねらいや今の姿を把握し、対応する力をつけていくようにする
3	・子どもが楽しく通っている ・個別で取り組む課題と、集団での活動のどちらも経験できる	・遊びの設定によっては、パーテーションで仕切ったりしながら環境の構造化を行い、じっくり取り組めるようにしている	・個々に合った支援をする為に、更に知識を深めていく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・外部との連携	・地域の子ども・地域住民・地域の施設等との取り組みがまだ弱い	・外部との関係性を新たに構築していく ・定期的なイベントの実施を行う
2	・きょうだい支援の充実	・イベント等でのきょうだいの参加が少ない	・交流の場であることを周知し、内容を充実させていく
3	・非常時の対応について十分に理解されていない	・非常時に対する取り組みは行っているが、浸透していない	・非常時の対応について情報伝達に努める